学校だより第４１号

ＴＥＡＭさくらまち

令和８年１０月２１日

自ら学び　自ら考え　自ら行う

長崎市立桜町小学校　校長　片岡 勝志

小体会　「全力で　全員で　最高に輝け」

１０月１４日（水）、第６４回長崎市小学校体育大会（小体会）が開催され、長崎市内の小学校に通う６年生が参加しました。長崎県立総合体育館をはじめ各会場にて、本年度の大会スローガン「全力で　全員で　最高に輝け」にふさわしい、子供たちが躍動した素晴らしい大会となりました。

昨年度、競技種目の大幅な見直しが行われました。今年度は新しい種目になって２年目の年だったのですが、保護者の皆様の大きなご声援の中、仲間と工夫し、力を合わせる子供たちの姿が輝いており、会場は一体感に包まれていました。勝って嬉しかった子、負けて悔しかった子、力を出し切れた子、悔いが残った子など様々だったようですが、どの子も運動の楽しさに触れ、小学校時代の素晴らしい思い出になったように思います。

＜フットホッケー＞	１試合目　桜町２９－２７諏訪	２試合目　桜町３６－２１小島
＜プレルボール＞	１試合目　桜町１０－　９南陽	２試合目　桜町１０－　９鳴見台
＜ターゲットボッチャ＞	１試合目　桜町２１－３４諏訪	２試合目　桜町２１－３８鳴見台
＜球入れ＞	１回目　２３個	２回目　２３個　　３回目　２３個
＜フラッグフットボール＞	１試合目　桜町３５－４５小榊	２試合目　桜町４６－４０上長崎

大会後の子供たちの感想を紹介します。

私は、小体会で「ターゲットボッチャ」という競技に出場しました。球を転がして得点の書いてある紙にのせるというものです。本番に向けて授業の時間を使った練習や昼休みを使っての自主練習を行いました。主に試合や投球練習です。

本番をむかえ、「小体会出場選手を励ます会」で校長先生がおっしゃっていた大切なことを身をもって体験しました。まず、「過程」についてです。ある学校は、２つのチームをつくって出場していました。そして、どちらのチームも全ての試合で勝っていました。そのようなことはあまり起こることはないと思います。それを可能にしたのは、たくさんの努力だと思います。努力をすればそれ相応の結果がついてくるものだと改めて実感しました。次に「スポーツマンシップ」についてです。残念ながら、私たちはどの試合でも負けてしまいましたが、それによる発見もありました。それは、私たちのチームに勝った学校は、全て礼儀正しかったということです。相手の目を見てあいさつをしたり、列を乱さずまっすぐ並んだりしていました。また、よいプレーをした人にはほめ言葉をかけていました。これらはすべてスポーツマンシップにあてはまります。そのような人が勝つのなら不満を感じませんでした。

小体会で学んだことを、中学受験に生かしたいと思います。志望校に受かってもおかしくないような「過程」を作るために、勉強はもちろん、小学校生活の中で授業では学べないことを見つけていきたいです。

僕は練習を通して友達に声かけてほめたり励ましたりすることの大切さを知りました。最初の練習ではコートからボールがバウンドする音しか聞こえませんでした。ですが練習を重ねていくうちに「だいじょうぶ」や「次があるよ」といった励ます言葉と「今の上手だった」「ナイス」など、ほめる言葉がたくさん聞こえるようになりました。そのおかげでチームワークが最初よりよくなり、本番では２勝０敗で大成功でした。

本番を終えて僕は、チームの仲も深まっていいと思いました。なぜなら、２勝０敗でしたが、得失点差で別の小学校に負けましたが、みんなは今までにないほど集中して最高のプレーができたからです。

これからの生活に向けて僕は、プレルボールで学んだ、失敗した友達を励ます言葉や上手だった友達をほめる言葉などをいかして、桜っこくんちなどの小学校のイベントを成功させたいです。

僕は小体会フットホッケーで優勝するために練習を一生懸命しました。しかし、左手の小指を全治５週間程度のけがをしてしまい、練習ができない時期がありました。だけど、僕はあきらめず相手とぶつからないパスや走る練習をしました。けがをしてからは本番まで練習試合はできませんでした。

本番はお医者さんから出ていいと言われ、出ることができました。本番ではこれまでの練習を生かしていく自信がありました。１試合目は諏訪小で強い相手でした。最初はリードされていて、負けそうなシーンがたくさんあったけど、仲間たちはあきらめず、５点差をひっくり返して２９対２７で勝ちました。僕も点をたくさん入れられてよかったです。２試合目は小島小です。A グループの時は負けていたけど、B グループ、僕のゴールから始まって逆転し、点差をはなして勝ちました。２勝０敗です。得失点差で優勝はできなかったけど、あきらめないチームが勝つということをこの小体会で学びました。







画像提供　「タシロフォートスタジオ」

「桜っこくんち」の稽古が始まりました

今年も「桜っこくんち」に向けた稽古が始まりました。指導にあたられる花柳先生、元船町、魚の町、五嶋町、樺島町の皆様が、「子供たちのために」とお仕事の合間を縫ったり、お休みを取られたりして駆けつけてくださっています。

子供たちは、地域の方々と触れ合う中で、演舞や踊りの技術だけでなく、「目標に向かって一生懸命に励むこと」「仲間と力を合わせてつくり上げること」、そして「礼儀」や「周囲への思いやり」といった、大切な心を学んでいます。まさに「桜っこくんち」は、本校の学びの大きな柱です。

今年の「桜っこくんち」は 11 月 21 日（土）、創立 30 周年記念式典に続いて開催いたします。節目の年を彩る素晴らしい発表となるよう、子供たちは日々稽古に励んでまいります。温かいご家庭でのサポートをよろしくお願いいたします。（以下は稽古初日の様子）



１年　本踊り



２年　唐人船



３年　川船



４年　桜っこみこし



５年　龍踊



６年　太鼓山